

学校課題

- ◎授業改善を重ね、主体的・対話的に深い学びを実現する態度や能力を高める必要がある。
- ◎生徒一人一人への最適な指導・援助を行うため、正確な事実認識とチーム支援を一層充実させる必要がある。
- ◎地域貢献の意識を高めるため、生徒会主体で地域行事や清掃活動を工夫して展開する必要がある。
- ◎将来の夢や目標を持ち、自分の良さを自覚する意識を変容させる必要がある。
- ◎教職員一人一人の服務規律遵守と倫理保持の意識を強化する必要がある。



学校の教育目標

自律 共生 創造

身に付ける3つの力=笑顔の“もと”



経営の方針

- 生徒一人一人が自らの学びを実感できる学習指導
- 親身になって傾聴し、心を馳せ、自己実現を意図した生徒指導
- 豊かな心を育てる教育活動
- 学校、家庭、地域社会の連携・協働体制
- 教職員が笑顔で元気に業務を推進できる勤務環境
- 安心で安全な学校づくり

可児市教育の方針

【教育の根底】



「子どもの命を守る」

【目指す教育の姿】

笑顔の学校づくり第2st

一人一人の今の笑顔を、未来につなげる。未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」を育む。

めざす教師の姿

【教への専門家】
【学びの専門家】

「学び続ける教師こそが、子どもの心に灯をともしることができる」

具体的実践事項と評価指標

| <p>具体的実践事項</p> <p>☒:学習指導部 ☑:生活安全指導部 ☒:特別活動指導部 ☒:教務・管理職</p> | <p>評価指標 (KPI) 肯定的回答率</p> <p>◎:全国学調 ○:学校評価 □:各種関係調査</p> <p>*下線部:目標値 (括弧内の数値は現況値 (R6 全国学調))</p> |
|---|--|
| <p>➢ 生徒一人一人が自らの学びを実感できる学習指導 ☒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的を明確にした協働的な学びの推進 ・目的を明確にした ICT 教育機器の活用 ・理論と実践の往還を図る研究授業及び日常的な OJT の実施 ・授業評価 (生徒用質問紙) による定点観測 | <ul style="list-style-type: none"> ◎「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫している」 85%(80.0%) ◎「学級の生徒との話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる」 85%(79.0%) □「授業中に ICT 教育機器を活用して指導できる」 100% |
| <p>➢ 親身になって傾聴し、心を馳せる生徒指導 ☑(一部特)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止基本方針・東可児共生宣言等の遵守 *☒ ・SOS の出し方・気付き方に関する教育・指導の更なる充実 ・方向性を明らかにした迅速・誠実・組織的な対応 (SC との連携) ・Web-QU 等による客観的データを活用した正確な事実認識 | <ul style="list-style-type: none"> ◎「自分にはよいところがある」 85%(79.0%) ◎「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」 98%(96.0%) ◎「人が困っているときは進んで動ける」 95%(93.0%) |
| <p>➢ 豊かな心を育てる教育活動 ☒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟議-合意形成-意思決定の過程を経た生徒会・学級活動の推進 ・積み重ねた努力の大きさと値打ちを味わう体験の確保 ・キャリア教育、人権感覚を研ぎすます講話等の充実 ・キャリアパス「わたしの笑顔の“もと”」の効果的な活用 | <ul style="list-style-type: none"> ◎「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」 87%(82.0%) ◎「人の役に立つ人間になりたい」 98%(95.0%) ◎「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」 70%(61.0%) |
| <p>➢ 学校、家庭及び地域の連携・協働体制 ☒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜ヶ丘小学校からの系統的な生活・学習の充実 ・学校だより及びHP による具体的かつタイムリーな情報提供 ・CS とともに「地域に根差した学校」への体制強化 ・学校評価及び学校運営協議会による定点観測 | <ul style="list-style-type: none"> ○「学校・家庭・地域が学校の教育目標・方針を理解し、指導にあっている」 92.0%(89.2%) ○「情報提供を行っている」 97.0%(96.4%) |
| <p>➢ 笑顔で元気に業務を推進できる勤務環境 ☒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤怠管理の徹底と勤務時間を意識した働き方の加速化 ・年間4ステージによる教育課程の焦点的推進 ・教職員間の対話量の増加による相互理解・承認の促進 ・ハラスメント調査、ストレスチェックによる定点観測 | <ul style="list-style-type: none"> □時間外在校等時間月60時間を超える教職員 <u>0</u>(月45時間以内を目指す) □ハラスメント調査実施率 100%とハラスメント件数 <u>0</u> □ストレスチェック実施率 100%と高ストレス者 <u>0</u> |
| <p>➢ 安心で安全な学校づくり ☒(一部生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自助共助ができる生徒を育てる防災教育の推進 *☑ ・最悪を想定し、慎重に、素早く、誠意をもって組織的に対応 ・教職員間の日常的な安全点検の実施 ・不祥事根絶チェックによる定点観測と現職研修の実施 | <ul style="list-style-type: none"> □不祥事根絶チェック実施率 100%と不祥事件数 <u>0</u> □服務規律遵守及び倫理の保持に向けた意識強化を図る現職研修受講率 100% |